

令和5年度学校経営計画

学校名 大崎上島町立木江小学校

学校長名 平田 修

I 学校の状況

学級数	5	児童・生徒数	27名	教職員数	18名
メールアドレス	k-es01@ed.town.osakikamijima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/kinoe-es				

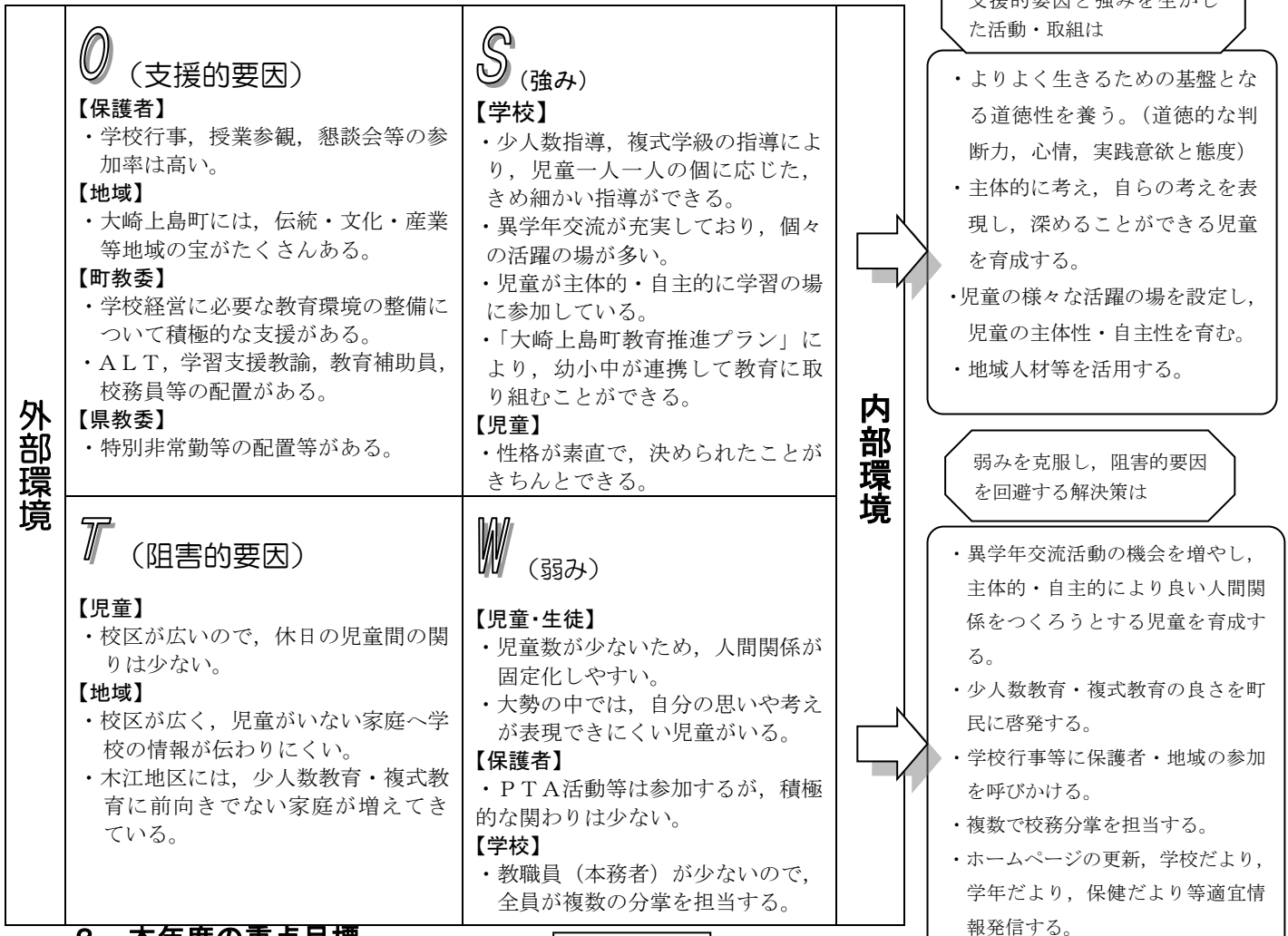
II 教育目標

「自ら学び 心豊かで たくましく生きぬく子供」

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

<p>【ミッション】（自校の使命）</p> <p>「大崎上島町教育推進プラン」を推進し、知・徳・体のバランスのとれた質の高い教育を実現することで、「自ら学び、心豊かで、たくましく生きぬく」児童を育成する。（大崎上島の将来を担う たくましく生きぬく子供の育成）</p>
<p>【ビジョン】（学校の目指す姿）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、創造力のある子供。思いやりの心を持ち、素直で明るい子供。進んで体をきたえ、ねばり強い子供、ふるさと（大崎上島）が大好きな子供を育てる学校</li> <li>・子供を大切にし、授業力の向上を目指し、個性を生かしながらチームで協働し、高め合う教職員</li> <li>・保護者や地域からこの学校に通わせてよかった、応援してよかったと思わせる学校</li> </ul>

IV 1 現状分析（学校の内外環境の分析）



2 本年度の重点目標

- ① 「大崎上島町教育推進プラン」に基づいた教育活動を実践する。
- ② 主体的に学び、互いに学び合う児童を育成する。
- ③ より良く生きるための、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を持った児童を育成する。異学年交流活動を充実する。
- ④ 各種大会等において、各自で目標を持たせ、体力の向上を目指す児童を育成する。
- ⑤ ICT活用を充実する。

## V 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	指標	担当
確かな学力・豊かな心	児童の主体的な学びを創造する。	◎複式授業（少人数教育）を充実させる。	○思いや考えを伝え合い、練り合う力を向上させ、互いに学び合う学級づくりを続けていく。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	85%	教務研究部
		○道徳的な判断力、心情、実践意欲等を育成する。 ○主体的・探究的に学習に取り組む態度を育成する。	○指導方法の工夫とカリキュラムマネジメントの充実を図る。 ○学習リーダーを中心に、課題解決に向けて集中して学習に取り組ませる。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	85%	
		○各種学力調査の目標値を達成させる。	○少人数指導や複式学級の指導のよさを生かし、児童一人一人にきめ細かい指導を行う。	各種標準学力調査	全国平均+5ポイント	
豊かな心・健やかな体	基本的な生活習慣を確立する。	◎気持ちのよい挨拶や返事ができる。	○全校集会等で挨拶や返事のできている児童を肯定評価し、挨拶や返事の大切さについて認識させる。教師自らが率先して模範を示し、児童が進んで実践しようとする意識を高める。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	90%	保体生活部
		○「早寝・早起き・朝ごはん」を定着させる。	○家庭と連携しながら、生活チェック点検を通して定着させる。	児童の自己評価	85%	
		○忘れ物ゼロを定着させる。	○児童自ら点検させ、忘れ物ゼロの児童を全校の前で表彰することで、忘れ物をなくそうとする意欲を高める。忘れ物をする児童が固定化しているため、家庭との連携を密にする。	表彰者受賞の割合	70%	
体力づくりを推進する。	◎運動の機会を増やし、目標を持たせて体力の向上を図る。	○各種大会等に、児童一人一人の目標を具体的に設定することで意欲を高め、成果を表彰してさらに向上心を持たせる。 ○新体力テストの結果から、継続して「握力」「筋力」「柔軟性」の向上を図る。	前年度との比較	85%		
信頼される学校	学校や地域を誇りに思う児童を育成する。	◎「大崎上島学」を推進する。	○ふるさと「大崎上島町」の学習を通して、地域を誇りに思う児童を育成する。 ○地域の人材・自然・文化・伝統などを「島まるごと教材」として教育内容に位置づけ、活動を行う。	学期毎の児童の自己評価と教師評価 学期に1回以上実施する	90% 90% 100%	教務研究部
	児童の主体的な活動を創造する。	◎異学年交流活動に主体的に取り組む。	○異学年交流活動の機会を増やし、主体的により良い人間関係をつくらうとする児童を育成する。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	90%	
	開かれた学校づくりに努める。	○積極的な情報発信を行う。	○情報公開を積極的に行う。ホームページの更新、学校だより、学年だより、保健だより等適宜発信する。	月1回以上発信する。	100%	
	連携教育を充実させる。	○幼・小・中で、連携教育を推進する。	○学習内容や行事を工夫し、園児・児童と一緒に活動させる。小・中連携においては、研究授業など相互に参観し、指導方法の改善を図る。	学期に1回以上実施する	100%	
	業務改善を図る。	○児童と向き合う時間を確保し、長時間勤務の減少を図る。	○業務の進め方の改善を図る。 ○個別業務の精選・省力化の工夫を図る。	教師評価	90%	